

- 問1 熱帯に属する地域のうち、一年中雨が多い熱帯雨林気候では密度が高い森林が広がりますが、サバナ気候では「丈の長い草とまばらな樹木」という景観になります。このように植生に違いが生じる理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- 常に強い風が吹いているため、背の高い樹木が折れて草原になってしまいうため
  - 土壌に塩分が多く含まれており、特定の草以外の植物が育ちにくい環境であるため
  - 一年を通して気温の変化が激しく、冬の寒さに耐えられる樹木しか育たないため
  - 一年の中に降水の少ない乾季が存在し、樹木が密集して成長することが制限されるため
- 問2 一年を通して月平均気温が28度前後と高く、降水量も非常に多い熱帯雨林気候の地域で見られる、伝統的な木造住居の構造に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- 壁を厚い石やレンガ造りにすることで、外の熱気が室内に伝わるのを防ぐ工夫
  - 窓を極端に小さく設計することで、外からの強い日差しと熱風を遮断する工夫
  - 床を低くして地面に密着させることで、地面の冷たさを室内に伝える工夫
  - 床を高くすることで風通しを良くし、地面からの湿気の影響をやわらげる工夫
- 問3 世界の気候帯のうち、最も気温が高い月の平均気温が10度を下回るために、樹木が成長して森林を形成することができない気候帯を何といいますか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- 乾燥帯
  - 亜寒帯（冷帯）
  - 温帯
  - 寒帯
- 問4 西アジアから北アフリカの諸地域における宗教的特徴を説明した文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- 厳しい修行を通じて悟りを開くことを重視し、東アジアの国々で主に信仰されている。
  - ガンジス川などの聖地を中心とした信仰を持ち、牛を神聖な動物として尊んでいる。
  - 複数の神を認める多神教が主流であり、社会階級制度などの構造に強く影響を与えている。
  - 唯一神アッラーを信仰し、聖典コーランに基づいた生活文化が根付いている。
- 問5 アラブ首長国連邦において、国教ではないヒンドゥー教の信者が人口の約2割という高い割合を占めている理由として、最も適切な説明を選んでください。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- 経済発展に伴い、インドなどから多くの外国人労働者が流入しているため
  - 政府が観光客を誘致するため、ヒンドゥー教への改宗を奨励したため
  - 国内の少数民族が、古くから独自の信仰としてヒンドゥー教を守っているため
  - かつてインドの植民地であった時代の影響で、宗教文化が定着したため
- 問6 アフリカの国々の中には、モーリタニアにおけるフランス語の使用とフランスからの経済協力、ギニアビサウにおけるポルトガル語の使用とポルトガルとの結びつきのように、特定のヨーロッパ諸国と密接な関係を持つ例が多く見られます。このような関係が生じる主な要因として最も適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- かつての宗主国とその植民地という歴史的な関係があり、独立後も言語や経済面での結びつきが維持されているため
  - 地理的な距離が非常に近く、周辺国との貿易よりも輸送コストを低く抑えることができるため
  - 同じ宗教を信仰する人々が多いため、宗教的な連帯感に基づいて経済的な支援が優先的に行われているため
  - 国際連合の決定により、ヨーロッパ諸国はアフリカの特定の国々を永続的に支援する義務を負っているため
- 問7 東南アジアに位置するタイの首都バンコクでは、月平均気温が一年を通して25度以上と高く、降水量については5月から10月にかけて大幅に増加する一方で、12月や1月にはほとんど雨が降らないという極端な変化が見られます。このような気候の特徴が生じる背景として最も適切なものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、湿った空気が流れ込む時期と乾燥した空気が流れ込む時期が分かれるため、雨季と乾季が生じる。
  - 赤道直下に位置しているため、一年中強い日差しによって上昇気流が発生し、毎日午後にはスコールと呼ばれる激しい雨が降る。
  - 暖流と偏西風の影響により、緯度のわりには冬の気温が下がらず、一年中安定した降水量がある。
  - 中緯度高圧帯の影響を一年中受けるため、気温は高いものの水蒸気が供給されず、年間を通して極めて乾燥する。
- 問8 世界の諸地域における宗教の広がりについて述べた次の文のうち、パキスタンにおいて総人口の96.5%という極めて高い信者数の割合を示し、西アジアや北アフリカで広く信仰されている宗教として最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- キリスト教
  - ヒンドゥー教
  - 仏教
  - イスラム教
- 問9 「夏に雨が少なく、冬に雨が多い」という地中海性気候の特性に合わせて、イタリアなどの地域で古くから発展してきた農業の説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- 夏の乾燥に強いオリーブやブドウ、オレンジなどの果樹栽培を行う。
  - 冷涼な夏でも育つジャガイモやライ麦を主に栽培する。
  - 夏の豊富な降水を利用して、米と小麦の二毛作を行う。
  - 一年中平均して降る雨を利用し、家畜の飼料となる牧草を栽培する。
- 問10 冷帯（亜寒帯）の気候に見られる「年較差」という言葉の説明として、正しいものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
- ある地点の年間降水量と、年間の蒸発量を比較した数値の差のこと。
  - 一年の中で最も平均気温が高い月と、最も低い月の気温の差のこと。
  - 一日のうちに最も気温が高い時間と、最も低い時間の気温の差のこと。
  - 平年の気温と、その年の実際の気温との間に生じた数値の差のこと。
- 問11 赤道付近に位置する高山気候の地域では、1年を通して気温の変化が小さく「常春」のような涼しい状態になります。このような気温の特徴が形成される原理の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 熊本県公立入試 類似)
- 季節風の影響で夏は冷たく湿った風が吹き込み、冬は乾燥した温かい風が吹き込むから
  - 寒流の影響を強く受けるため夏でも気温が上がらず、冬は平年並みの暖かさになるから
  - 高緯度に位置するため年間を通して太陽がほとんどのばらず、常に氷点下の気温が維持されるから
  - 標高が高いため全体的に気温が低くなり、赤道近くのため太陽からのエネルギーの季節変化が小さいから
- 問12 オーストラリア大陸北部の沿岸部で見られる気候の特徴について、降水量の変化に注目して説明したものとして正しいものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- 回帰線付近の乾燥帯に属するため、年間を通じて雨がほとんど降らず、植生が全く見られない。
  - 南半球の夏にあたる12月～2月頃に雨季となり、降水量が集中するサバナ気候などが見られる。
  - 年間を通じて安定した偏西風の影響を受けるため、季節による降水量の変化がほとんどない。
  - 南半球の冬にあたる7月～8月頃に雨季となり、夏は乾燥する地中海性気候が広がっている。
- 問13 赤道付近に位置するある地域の気候統計において、月平均気温が一年を通じて25度から27度程度でほぼ一定であり、月間降水量が各月ともに200ミリメートルから300ミリメートル程度という極めて多い数値を示している気候区分を選択してください。 (2026年 広島県公立入試 類似)
- サバナ気候
  - 熱帯雨林気候
  - 温暖湿潤気候
  - 地中海性気候